

第 18 回教育研究審議会

議事概要

開催日:平成 28 年 1 月 6 日(水)

場 所:本部棟 3 階大会議室

出席者:福田誠治学長、阿毛久芳副学長、新保祐司副学長、高部剛事務局長、酒井利光理事、大平栄子学長補佐、中井均学長補佐、平野耕一学長補佐、寺川宏之初等教育学科長、古川裕佳国文学科長、鷺直仁英文学科長、横田力社会学科長、伊香俊哉比較文化学科長、田中昌弥教職支援センター長、鳥原正敏地域交流研究センター長、大辻千恵子国際交流センター長、谷内治彦総務課長、齊藤浩稔経営企画課長、菊地保学生課長

■挨拶

福田誠治学長よりあいさつ

議 事

- (1) 専任人事について(投票)(国際教育学科)
 - 歴史(世界史)
 - ・投票の結果、信任多数により承認。
- (2) 専任教員・特任教員の採用について
 - 特任教員 A (初等教育学科)
 - ・担当より資料 2-1、2-2 に基づき説明。審議の結果、一部修正となったが、学科会議で議論する必要があるため、次回の審議で決定する。
 - ・職務内容(1)の「学校教育基礎演習」と「教授法演習」は削除。「教職入門」のみ残す。
 - ・職務内容(4)の「SAT 活動の」は削除。
 - ・応募資格(1)は「小学校あるいは中学校(義務教育課程の学校)」に変更。
 - 日本研究(文化・教育・言語等)(国際教育学科)
 - ・担当より資料 2-3 に基づき説明。審議の結果、一部を修正し承認。
 - ・1 月 5 日を締切日として推薦公募をしたが、推薦がなかったため再提案。
 - ・応募資格(2)は「グローバルな視点で近代以降の日本研究をされている方」に修正。ただし、近代以降が示す時代については、線引きしない。
 - ・応募資格(2)の「教育」は「授業」に変更。
 - ・2 月 2 日を締切日として推薦公募。
 - 特任教員 B (国際教育学科)
 - ・担当より資料 2-4 に基づき説明。審議の結果、一部を修正し承認。
 - ・職務内容(2)の「家庭学習」は削除。
 - ・2 月 2 日を締切日として推薦公募。
 - ・教授等の格付けについては、研究業績を見ないのであれば、講師にせざるを得ない。しかし、給料については、規定を最大限拡大解釈して決定する。ただし、無理であれば規定に従う。
- (3) 特任教員について
 - 特任教授 C の継続について(キャリア支援センター)
 - ・2名の人事資料は資料 3-1、3-2 の通り。審議の結果、2名の継続を承認。

○新規の特任教授について(キャリア支援センター)

- ・3名の人事資料は資料 3-3～3-5 の通り。審議の結果、教員選考委員会での提案を受けて決定をする。
- ・資料 3-5 の人事に対する意見は、選考委員会で検討する。

○新規の特任教授について(情報センター)

- ・人事資料は資料 3-6 の通り。審議の結果、教員選考委員会での提案を受けて決定をする。
- ・職務内容②の「教職支援センター」を「情報センター」に修正。

(4) 教員選考委員会の選出について

○担当より資料12に基づき説明。

- ・特任教員 A (初等教育学科) は、委員の所属までを決定。
- ・特任教員 C (キャリア支援センター) は、各委員を選出。ただし、変更の場合有。
- ・特任教員 C (情報センター) は、次回以降に報告。

(5) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について (社会学科)

○憲法Ⅱ、教育と法 A、教育と法 B

- ・担当より資料 4-1、4-2 に基づき説明。審議の結果、提案通り承認。

(6) 非常勤講師採用候補者の提案について(情報センター)

○教育メディア IC、教育メディア ID

- ・人事資料は資料5の通り。審議の結果、提案通り承認。

(7) 大学院非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について

○地域社会の分析方法Ⅳ(憲法と統治機構論)

- ・担当より資料 6-1、6-2 に基づき説明。審議の結果、提案通り承認。

(8) 副学長規程等の整備及び学科長の管理職化について

○担当より前回の質問事項について、資料に基づき回答。審議の結果、資料 7-2 都留

文科大学副学長規程、資料 7-3 都留文科大学学長補佐規程及び資料 7-4 都留文科大学学科長規程は原案のとおり承認する。

ただし、都留文科大学学科長規程第 4 条中「参酌」とは、合意形成のプロセスとして、「学科の意見を尊重しながら、合意形成に努める」ものであることを記録にとどめることとする。

なお、学科長を管理職にするための資料 7-5 公立大学法人都留文科大学職員給与規則の一部を改正する規則については、ペンディングとする。

(9) 「教育研究業績書の記入上の注意」について

○担当より資料10に基づき説明。審議の結果、一部を承認し、継続審議。

- ・⑤に電子媒体に関する記述を追加し、⑥を 2 つに分割する。
- ・③の概要の記載については、実技や口頭発表の場合の字数は任せるができるだけ書くようにする。
- ・共著と単著については、課程認定を参考にして再度提案する。

(10) 平成 28 年度非常勤講師の授業担当科目の取消について(第 3 回)

○担当より資料8に基づき説明。審議の結果、提案通り承認。

- ・「現代の課題Ⅲ、刑法Ⅰ(総論)、刑法Ⅱ(刑事政策)」
- ・「経済学 B、現代企業論」
- ・「Communicative English(上級集中)Ⅰ、Communicative English(上級集中)Ⅱ」

(11) 平成 28 年度非常勤講師の授業担当科目の更新について(第 5 回)

○担当より資料9に基づき説明。審議の結果、提案通り承認。

- ・今回も年齢やコマ数の上限を超えるものはない。

報 告

(1) 公立大学法人都留文科大学名義使用許可について

○担当より資料11に基づき、10月から12月に許可したものを報告。

以上